

KAYUKAI

香友会だより

ごあいさつ

同窓会香友会々長
佐藤 好邦

会員の皆様方におかれましては、香友会の活動に対するご協力また母校の発展のためのご指導としてお力添えを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、私昨年の総会により名誉ある母校の組織である香友会々長にご推挙頂き、もうすぐ一年を迎えようとしております。

浅学非才ではございますが、会員の皆様のご指導を賜りながら母校のさらなる前進に向けて努力を積み重ねて参る所存でございます。

さてご承知のとおり本校生徒達もたまわぬ努力により文化・スポーツ部門におきましても優秀な成績を修めております。

これは一重に先生方の熱意ある教育指導の一環でもあると感謝しております。

また、全てが模範する生徒の集団

であり、この要素は保護者の日頃からの家庭指導の導きによるものと敬意を表する次第であります。

更には本校に情熱を注がれるPTAの存在も大きな力となっております。

この様な事から生徒達の将来に大きな期待を抱くと同時に願わくばそれぞれがまちの活力源になって欲しいと願っています。

同窓会としても更なる母校の発展はもちろん生徒の皆さんの将来をも応援して参りたいと思っております。

最後になりましたが末永い会員の皆様のお力添えと、母校の発展そして皆様のご多幸・ご健勝をご祈念申し上げます。



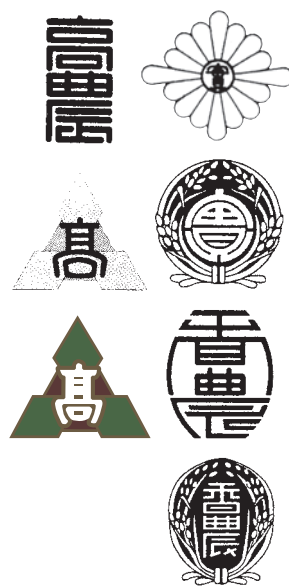
ごあいさつ

校長
三笠 善宣

香友会の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より母校の教育活動に対し、多大なるご理解と温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

早いもので、私が本校に着任してから2度目の春を迎えました。昨春、私を圧倒するほどの美しさで迎えてくれた正門の桜は、今年も変わらず見事な花を咲かせ、4月7日の入学式には、新たな志を胸に門をくぐる新入生たちを優しく包み込んでくれました。

この1年間、私は生徒たちの元気な姿を間近で見せてもらいました。看護科・環境科学科・生活デザイン科・福祉科・普通科、5つの学科それぞれが専門性を磨き、座学と実習を織り交ぜ地域社会とつながりながら成長していく姿は、本校が



発行者

香川県立高松南高等学校
同窓会会長 佐藤好邦
香川県高松市一宮町531
印刷所 (株) 中央印刷

115年という長い年月をかけて築き上げてきた「多様性と活力」の証であると確信しております。

また、放課後の校内には、昨年度も多くの部活動が県大会や四国大会、そして全国の舞台へと駆け上がっていく快音が響いていました。立ち止まって挨拶を交わす生徒たちの清々しさは、本校の誇るべき伝統です。校舎やその周辺の緑が美しく保たれているのも、生徒や教職員に「母校を愛する心」が根付いているからこそだと、改めて深く感じております。

令和8年度、本校では高校生845名、専攻科生60名の生徒たちが、それぞれの夢に向かって邁進しています。校歌に謳われる「友あり師あり健やかに」という一節のとおり、切磋琢磨し合う日々の中で、彼らは確実に次代を担う力を蓄えています。

4月末に、この原稿を書いております。今年の体育祭は史上初、屋島レクザムフィールドで行われました。本格的な陸上競技場での実施となり、生徒たちには貴重な経験に

りました。前日の大雨から一転して、春のさわやかな青空に恵まれ本当に元気に楽しそうな姿を見せてくれました。遠足は、1年生は金刀比羅、2年生は淡路島イングリッドの丘、3年生は倉敷美観地区に行きました。これもまた晴天に恵まれ、楽しい1日になりました。こうした学校行事を通して生徒には普段とは違った環境で、教室では学べないことを体験してもらおうとともに、友人と交友を深めてもらいたいと願っています。この後も県高校総体、そして各科の専門性を活かした行事が目白押しです。私は生徒たちに、失敗を恐れず挑戦し、仲間と共にこの「南高」で過ごす時間を大切にしたいと伝えています。同窓生の皆様が歩まれた道が、今を生きる生徒たちの確かな道標となっております。

最後になりましたが、今後とも会員の皆様の一層のご協力、ご支援をお願い申し上げますとともに、香友会の益々の発展と、皆様のご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



南 高 百 景

【令和7年度始業式】

令和7年度の満開の桜が咲くなか、新年度が始まりました。

【入学式】

高校1年生 291名、専攻科1年生 33名の入学式が行われました。新しい制服に身を包み、学校生活に期待に満ちた表情をした高校生と専攻科生の姿が見られました。高等学校本科・看護科専攻科の新入生代表生徒によりそれぞれの目標と決意を表明しました。

【遠足】

1年生は金刀比羅宮へ。七八五段上がった先にある本宮でクラスごとに写真撮影をした。その後は自由行動となり、食べ歩きをした人、木刀を買った人、射的でその日の最高得点を出した人など様々な人がいました。また外国人の観光客も多く、金刀比羅宮が世界的にも大切な場所なのだという実感できました。



1年生 金刀比羅宮

2年生はレオマワールドへ。曇り空のなか、2年生はバスでニューレオマワールドへ向かいました。現地では、南高生だけでなく他校の生徒もたくさん訪れていました。クラスごとに写真撮影をした後、多くの生徒は、いろいろなアトラクションに列を作っていました。特に列を作っていたのは、ゴーカートやジェットコースターでした。友達とたくさんのアトラクションに乗ったりして、とても楽しく過ごせた1日でした。



2年生 ニューレオマワールド

3年生は、岡山県の鷺羽山ハイランドへ。朝は曇り空でしたが午後には晴れ、過ごしやすい気候の中、全力で楽しむことができました。約1時間の移動を経て、バスから降りると、現地には他校の生徒や観光客も来ていました。クラスごとに集合写真撮影をした後に、多くの生徒が長い階段を駆け上がり、ジェットコースターやスカイサイクルなど様々なアトラクションに列を作っていました。観覧車から見る景色を楽しんだり、ビンゴゲームで盛り上がったたりして、絶叫系のアトラクションが苦手な人でも楽しむことができました。



3年生 鷺羽山ハイランド

【体育祭】

5月7日体育祭が開催されました。前夜の雨の影響で開催が心配されましたが、朝から行った水抜きなどの整備によって無事開催することができました。クラス対抗リレーの3年男子の決勝や大縄跳びに、有志の教員も参加し、大いに盛り上がりました。



【南高祭】

9月5・6日に行われた南高祭は「南高祭最高って伝えなきゃ青春をシェアしよう」のテーマのようになり、屋外展示では華やかに飾られたステージや巨大なはりぼて、繊細に



体育祭

作られた壁画、屋内展示は各学科やクラスの色を取り入れ、工夫を凝らした催し物がありました。3年生のバザーはクラスの個性が生かされており、南高生や来場者みんなの心とお腹を満たされるものばかりでした。

A large group of students, mostly in blue and black uniforms, are posing in two large heart shapes on a paved area. The students are arranged in several rows, filling the heart outlines. In the background, a building with Chinese text is visible.

最終日の4日目はウポポイ国立アイヌ民族博物館では、アイヌ民族に



南高祭



を行うことにより生徒は日々、成長しているように感じます。これも香友会の皆さまの温かいお言葉や励ましがあつてのことです。120周年の南高校に向けて、今後も生徒一人ひとりが活躍でき、将来の進路実現が叶うように手を差し伸べていきたいと思いますので、香友会の皆様にもお力添えをお願い申し上げます。



ついでに歴史を知ることができました。



修学旅行

看護科 三十二名
環境科学科 三十五名
生活デザイン科 三十五名
福祉科 二十八名
普通科 百五十六名
合計 二百八十六名。
専攻科看護科修了生 三十四名
今年度から新たに同窓会(香友会)に加わった人数です。

南高校出身力士

三月場所成績

○大喜翔

西幕下十四枚目

○大皇翔

西幕下十七枚目

○大翔碧

東序二段三十一枚目 二勝五敗

吹奏楽部 第47回 定期演奏会のお知らせ

日時

令和9年3月20日(土) 18:30 開演

会場

サンポートホール高松・第2小ホール

支部だより

〈一宮支部だより〉

支部長 山本 孝文

令和7年8月3日、田村神社社会館においでして、母校校長 三笠善吉先生をお招きしました。香友会・宮支部総会を開催しました。

前年度の事業報告及び会計報告ならびに今年度の事業計画と予算(案)についてご審議をいただき、原案とおり承認をいただき無事終了いたしました。

その後、香友会本部の総会及び懇親会に支部会員11名の出席を得て参加させていただきました。

本年は3月8日に一宮地区の災害時における避難所開設防災訓練を行いました。母校の協力をいただき、看護科をはじめとして多くの在校生の参加を得て実施することができました。学生の皆さんもきつと良い経験ができたことと思います。改めて学校を申し上げたいと思います。

母校として協力をお願いいたします。私が入学した当時、南ヶ丘グラウンドには、木造の普通科の教室棟と体育館があり、そこで2年間過ごしたところですが、現在も存在している石張り造の門柱が当時の面影を残している構成物で、懐かしき思いをします。3年生に入学して、やつと鉄筋コンクリート造の校舎に入った時は、なんか妙に嬉しかったです。

木造の校舎だったもので、コンクリート校舎に憧れを持っていったんだというなと思います。

支部の今後の活動は、総会等へ参加して、もたえる支部会を増やす事業の取り組み、特に若い世代の出席者を進めていこうと考えています。

今後とも協力をお願いいたします。

一宮支部総会

日時 8月2日(日)

午前9時

場所 田村社会館 控室

卒業生リレー寄稿 22

3年間の高校生活



平成15年3月
衛生看護科専攻科修
丸岡 淑子

私は、平成15年に専攻科衛生看護科を修了後、屋島総合病院に就職しました。その後、結婚を機に丸亀へ移り、香川労災病院で38歳まで勤務しました。在職中は呼吸療法認定士や禁煙認定指導者の資格を取得し、看護の現場に活かしてきました。中間管理職も経験し、看護学生と関わる機会も多く、フレッシュな看護学生さんたちを見るたびに「私もそんな時があったな」と懐かしく思うと同時に「頑張ってー」といつも思っていました。高校時代の思い出といえば、琴電を乗り継いで毎日1時間ほどかけて通学したこと。試験が近づくと、一緒に通っていた友達と問題を出し合いながら通っていました。途中下車をしておやつを買って食べた、あの何気ない時間も、今となつては忘れられない宝物です。現在は看護師の道を退き、写真家として活動しています。さまざまな現

場で撮影をしたり、子どもたちがカメラを通して「表現する楽しさ」や「考える力」を育む活動にも取り組んでいます。自分自身が楽しみなから取り組んでいると活動の幅は自然と広がり、今では子どもたちが記者となつてインタビューや撮影を行う「まるがめこども新聞」を発行しています。高校生の頃から看護師を目指し、臨地実習で医療の現場に飛び込み、実習記録に頭を抱えた日々や卒業後、看護師を経験してきたこれまでの人生は、今の私の土台になっています。患者さんから「ありがとう」と言われるたびに、仕事への誇りも感じてきました。そしてその経験があつたからこそ、今の活動にも全力で向き合えていると思つています。日々の勉強や実習が辛くて「行きたくないな」と思つた日も正直ありました。看護師になつてからも、不甲斐ない自分に挫折しそうな時もありました。でも振り返れば、すべてが「やつ



てきてよかった！」の一言に尽きます。この経験があれば、今の私はいません。高校生活は、たつたの3年間です。思いつき楽しんでください。たくさん先輩方が、皆さんのことを応援しています！

高松南高校を卒業して



平成30年3月
福祉科卒
山中 風紗

高松南高校を卒業して8年。今でも毎週のように集まる友人がいいます。その友人たちは、高松南高校で出会い、3年間をともに過ごしてきた大切な仲間です。福祉科は1クラスのため、ワクワクドキドキするクラス替えやコース選択もなく、変わらぬクラスメイトと3年間を過ごしました。

クラスマッチで毎年行われるバレーボールでは、バレー部がそろったチームで、応援団も含めて気合い十分。3年連続優勝という結果を残し、クラスの絆がぐつと深まりました。福祉施設での実習では、高齢者や障害のある方と関わる難しさや、実

習生として何ができるのかと悩むことも多くありました。同じ実習先のメンバーとお昼休みに悩みを打ち明けたり、お互いを鼓舞し合いながら、将来に向けて学びを深めることができました。利用者の方一人ひとりに合わせた関わり方を考える難しさを感じ、一方で、名前を覚えて声をかけていただけたときには大きなやりがいも感じました。

また、介護福祉士国家試験の勉強が本格的に始まってからは、クラスメイト同士で切磋琢磨する日々でした。分らないところは教え合い、毎日放課後に残つて勉強をしていました。ひと段落ついた後、みんなで購買のパンを買いに行つて食べる時間は、しんどい中にもある楽しいひとときであり、今振り返ると大切な思い出の一つです。結果、全員が無事合格することができました。

私は卒業後、県外の大学に進学しました。香川県に必ず帰つてこようと思つた大きなきっかけは、高校時代の友人の存在です。ともに3年間を過ごしたクラスメイトは、私にとって一生ものの存在となりました。

今でも集まると、高校時代の思い出やそれぞれの仕事の話が咲き咲きます。環境はそれぞれ変わっても、



当時と変わらない関係でいられることに、この出会いの大切さを改めて感じています。高松南高校での出会いと経験は、私にとってかけがえのない財産です。この場を借りて、母校への感謝の気持ちを伝えたいと思います。

南高生たちへ



平成31年3月
普通科卒
吉田 貴一

私は平成31年に高松南高校普通科を卒業しました。今回、環境科学科の教員である久保先生に声をかけてもらい、この文章を書いていきます。高校時代を一緒に過ごした久保君が、今は先生としてそこに立っている。その事実だけで、時間の重みを感じ知られます。

私はサッカー部でした。私たちの代は、前年に三冠を達成した流れもあつて、25人という大所帯で、しかも全員それなりに上手い。はつきり言つて、レベルは高かった。その中で自分はどうかだったか。下手でした。1軍の試合に出る機会は、ほとんどありませんでした。悔しいとか、情けないとか、そういう感情は何度も味わいました。それでも、最後まで辞めませんでした。理由は単純です。勝てなくても、出られなくても、それでもサッカーが楽しかったからです。ここで一つ、はつきり言いま

す。結果が出ない時間は、無駄じゃない。むしろ、思い通りにいかなかった時間のほうが、人を強くします。うまくいった記憶より、うまくいかなかった記憶のほうが、あとで自分を支える。だから今、うまくいってない人ほど、ちゃんと悩んでいい。逃げずに向き合っている。ただし、壊れるまでやる必要はない。苦しくなりすぎたら、「たかが部活だ」と切り離していい。全部を懸けること、全部に縛られることは違います。続けるのも覚悟。辞めるのも覚悟です。どっちを選んでもいい。ただ、中途半端だけは一番もったいない。高校生活は、たった3年です。でも、その3年は、後になって何度も思い返すことになります。私も卒業して7年以上経ちますが、今でもサッカー部の仲間と集まって、あの頃の話で笑っています。あの時間があつたから、今の自分がある。それを本気で言える仲間に出会えたことは、運じゃなくて、あの3年間をちゃんと生きた結果だと思っています。だから、伝えたいことはシンプルです。中途半端にやるな。どうせやるなら、やり切れ。勉強も、部活も、遊びも、全部。言い訳して終わる3年にしないでください。あとで思い出した



ときに、「あれでよかった」と言える3年間にしてください。その積み重ねが、未来の自分をつくります。

夢を叶えるために



令和4年3月
生活デザイン科卒
堀口 来夢

私は令和4年3月に生活デザイン科・服飾デザインコースを卒業しました。南高卒業後は大阪の上田安子服飾専門学校で舞台衣装コースに進学しました。

小学生の頃から服作りや舞台衣装に興味があった私は、高校・専門学校の計6年間、ひたすら服作りと向き合ってきました。高校時代の1番の思い出は、文化祭に向けたドレス制作です。当時の先生に無理をお願いして居残りをさせていただき、今でも仲の良い友人たちと「どうすればもっと素敵なドレスになるか」と熱心に意見を出し合っていました。卒業時、先生から頂いた「強く生きるんよ。流されないで」という言葉を胸に、私は大阪へと飛び立ちました。しかし、専門学校生活は楽しいことばかりではありませんでした。1年目の後半、自分のアイデアを形にする授業が始まると、思うようにいかず大きな挫折を味わいました。「学校を辞めようか」と本気で悩んだ時期もありました。ですが、地元の直島から夢を追いかけて大阪へ出てき



ただ、ここですめるわけにはいかない。歯を食いしばりました。必死にしがみついて努力を続けた結果、2・3年次には、自分のデザイン画が採用され、ひらかたパークの1日限定のショー衣装を制作したり、コンテストで優勝したりすることができました。さらには、制作したドレスを「海外のコンテストで着たい」と言ってくださる方との出会いもあり、かけがえのない経験を積むことができました。苦しい時に私を支えてくれたのは、南高で友人たちとワイワイ楽しくドレスを作った思い出と、「夢を叶えたい」という強い気持ちでした。

現在は、学んだ技術を活かして大阪のテーマパークで衣装の修理やクリーニング、本番中の早着替えの手伝いなど、ショーの裏側を支える仕事をしています。南高での経験があれば、服作りから離れていたかもしれせん。

最後になりますが、隣にいる友達を大切に、3年間しかない高校生活を思い切り楽しんでください。高校時代にできた親友は、一生モノの宝物です。皆さんの高校生活が、笑顔あふれる素敵なものになるよう応援しています。

仲間の大切さ



令和8年3月
環境科学科卒
谷澤 樟大

私は、令和8年3月に高松南高校環境科学科(土木コース)を卒業しました。そして、現在は高松市役所の技術職に就職し、市民の方々に幸せにするために土木構造物の維持管理や調査を行っています。

私が高松南高校環境科学科を選んだ理由は、沢山の資格を取得できるというところに魅力を感じ、この社会には絶対に欠かすことの出来ない「土木」というインフラにすごくかっこよさを感じたからです。

私は高校で「仲間の大切さ」を学ぶ事が出来ました。部活動では、始めの1年は本当にしんどくて毎日「やりたくない」と思いながら練習に参加していました。しかし、部活動の先輩方や同級生の部員も同じ気持ちだったことを知り、同じ悩みを話せる仲間が出来ました。すると、そんな悩みも2年生の後半にはもう忘れて、「楽しいな。早く相撲やりたいな」と、思うよう



になってきました。悩みを話すことで気持ちが軽くなって、相撲の本当の楽しさを知ることができたのかなと今は僕は感じています。そのお陰で、私は3年間諦めずに相撲を続けることが出来ました。資格取得の面でも同じだったと感じています。始めは、「こんな遅くまで残りたくないな。家で勉強するのにな。」と思っていたのですが、仲間がいたことで楽しく学べて、休憩時間は友達とおやつを買いに行つて、本当に仲間がいたことで辛い思い出がバツと出てこない、思いついた深い資格取得の勉強の時間だったと私は思います。全員合格という最高の結果を残すことも出来ましたし、本当に有意義な時間を過ごすことが出来たと感じています。

Chat GPTに聞けば解決することは沢山あると思いますが、直接聞くことで新しい発見も沢山ありますし、楽しい思い出も作れます。自分を成長させてくれる1番の近道は、仲間の存在なんじゃないかなと感じることができました。ですが、仲間にも様々なあつたのでしっかりと見極めて、今後の人生を存分に楽しんで欲しいと思います。最後まで読んでくださりありがとうございます。

令和7年度のおもな成績

《相撲部》

●県総体 団体 優勝

●個人 優勝

●県新人 団体 優勝(全国選抜出場)

●個人 優勝(全国選抜出場)

《剣道部》

●県新人 女子団体 準優勝

●県下段別 女子団体 優勝

(全国選抜出場)

《弓道部》

●県総体 女子団体 準優勝

●県選抜 男子個人 優勝

(全国選抜出場)

《ダンス部》

●全国ダンスドリル選手権中四国大会
HipHop部門Large編成
優勝(全国大会出場)

《バレーボール部(女子)》

●県総体 準優勝

●春高予選 優勝(全国大会出場)

●県新人 優勝

《ハンドボール部(女子)》

●県総体 準優勝

●県選抜 準優勝

●四国選抜 準優勝(全国選抜出場)



《ソフトボール部(女子)》

●県総体 準優勝

●四国総体 優勝

《バスケットボール部(女子)》

●県総体 準優勝

●県選手権 第3位

《ハンドボール部(男子)》

●県新人 第3位

《書道部》

●全日本高等学校書道コンクール 準大賞

●全国書道展 特選、準特選

●国際選抜書展 秀作賞

《吹奏楽部》

●全日本吹奏楽コンクール 香川大会B部門 金賞

●全日本マーチングコンテスト 香川県大会 銀賞

《合唱部》

●全日本合唱コンクール 香川大会 銅賞

●全日本合唱コンクール 香川大会 銅賞



《調理部》

●ご当地タニタごはんコンテスト 準グランプリ

《美術部》

●香川県総文祭美術・工芸展 奨励賞



新理事 就任挨拶

未来の世代に伝えたい南高の伝統と希望の光



遠藤 百合子

銀杏や桜、ヒマラヤ杉等緑豊かな大樹を有する広大な校地の高松南高。当然、四季折々の木々の変化には大量の落葉等を散らします。ある会で、このような話題がでた時、『それなら、木を伐採するのでなく、自ら落葉を掃いてやろうという生徒達を育ててください。』と話された先輩方を懐かしく思い出します。

『ドラえもん』や『不適切にもほどがある』など時代を超えた交流や物語で人気のテーマであるタイムスリップは、過去や未来へ時空を超えて移動する、現実にはあり得ない事象です。しかし、母校の大地に立つと、この地に学んで3万人を超える先輩方や今、当に学んでいる現役生、そして、未来の南高生の楽しい笑声や姿が視える気がするのです。

『今日あるを感謝し、最善を尽くして日々進むべし』あの頃は、単に良い校訓だと思っていたのが、卒業して50年以上の時が流れ、今、生きる信条になっています。

南高愛に溢れた先輩方のように振舞えないかと思いましたが、同窓生と現役生のかけはし的役割が果たせたらと思っています。

香友会の皆様へ



黒川 和弘

総会におきまして、理事に選任していただきました塩江町の黒川和弘と申します。何分にも未熟者ですので、皆様のご指導をいただきますようよろしくお願いします。

私は昭和53年3月に高松南高校を卒業しまして、その前年に発足しました木田郡・香川郡で組織さ

れた讃岐地区広域組合に消防士として勤務いたしました。その後、平成6年に当時佐藤会長が勤務されていた塩江町役場へ人事交流として出向しました。その後も、消防組合に帰ることなく勤務し平成17年高松市と合併後は高松市職員として今年の3月まで勤務してまいりました。現在は戸田という綾川町と接している山の中で八反ほどの石とぼくを作っております。農作業は大変重労働であります。体の続く限り頑張ろうと思っております。

皆様とこのご縁を大切にしたいこの伝統ある香友会の理事を務めてまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

高松南高校の発展を願う



宮本 好峰

私は、昭和55年3月に高松南高校農業土木科を卒業して、第一測量株式会社に就職し、還暦も過ぎました。現在は会社を事業継承して経営しています。この度理事を仰せつかって、香友会並びに母校の発展に微力ながら協力していきたいと思っております。私ことですが、毎年弊社は新卒者の求人募集をしています。希望者がいません。今後の企業は、従業員確保並びに事業継承が問題になりつつあります。全国人口統計調査では、少子高齢化が進み、特に出生率の低下が加速しています。その物理的対策として各地方公共団体は、学校の統廃合等をしていくが、抜本的対策には、学校はできません。対策としては県外への人の流出を抑えて、婚活支援、子育て支援による夫婦共働きがしやすい環境整備が必要だと考えています。その一環として、高校卒業後に県外へ進学しただけの若者が香川県に戻って就職する人を増やす試みがあります。香川県の進学を希望する人は半数以上になつていますが、昨今の母校の進路として、生徒の8割以上が県外の進学を希望する人は半数以上になつています。香川県内の就職については企業情報を提供して、高校在学中から人生設計のシミュレーションができるような場所を設定してみたい。希望を実現するために進学した卒業生たちが香川県内で就職したいと思つて母校を訪れた場合でも企

業情報を共有できたいと思っています。将来的に若者が香川県で就職・結婚・子育てができて良かったと思えるような未来が実現できるように、企業の立場でも学校と対話していきたいです。

夢・憧れを「目標」として



高崎 剛

令和7年度より香友会理事を拝命いたしました。高崎と申します。平成9年3月に南高校施設園芸科を卒業し、現在、高松市消防局に勤務しています。この度、歴史ある香友会の理事という重責を担うこと、身の引き締まる思いです。

私は高校3年生の時に「消防士になりたい」という憧れから消防職員採用試験を受験しましたが、不合格となり「夢を現実にした、ここで諦めたくない」という思いが、より一層強くなり、高校卒業後は公務員採用試験対策の専門学校へ進学し、翌年、高松市消防局の採用試験に合格することができました。夢が、初めて現実になった瞬間でした。消防士として働き始めると、学生時代とは立場が一変し、人命を預かる責任の重さを痛感しました。そして新たな目標が生まれ、火災現場での救出、交通事故や山岳事故、水難事故など、困難な現場で迅速に活動する先輩方の姿に憧れ、自分もレスキュー隊員として直接救助に携わりたいたいと考えようになったのです。

体力づくりと訓練を重ね、5年後に特別救助隊、高度救助隊員として7年間従事しました。その後、香川県防災航空隊に配属されヘリコプターで山岳救助や林野火災時の空中消火などの任務を経験し、高度救助隊の隊長として8年間勤務しました。夢や憧れは、思い描くだけでは実現しません。しかし、それを目標に変え、一つひとつ行動に移すことで、現実へと近づいていくのだと、これまでの経験を通じて実感しています。夢や憧れは一人ひとり違います。在校生の皆さんが、自分の夢を「目標」に変え、挑戦する一歩を踏み出すきっかけとなれば幸いです。結びに、同窓生の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

令和7年度 香友会総会・懇親会の様子



懇親会



三笠校長



佐藤新会長



松本会長退任



令和8年度香友会評議員会及び 総会の開催について（ご案内）

向暑の候、会員各位におかれましては益々ご健勝にてご活躍のことと、お慶び申し上げます。同窓会（香友会）の通常総会を下記日程にて開催いたしますので、友人、知人、お誘いの上ご出席下さいますようご案内申し上げます。

- | | | | |
|-------|---------------------|-------|----------------------|
| 1. 日時 | 令和8年8月2日(日) 10:00～ | 2. 場所 | 評議員会・総会・懇親会 田村神社会館 |
| 3. 日程 | 9:30～10:00 受付 | 4. 議事 | ①令和7年度事業報告並びに会計決算報告 |
| | 10:00～11:00 評議員会・総会 | | ②令和8年度事業計画並びに会計予算（案） |
| | 懇親会 | | ③その他 |

懇親会の会費は4,000円になります。

●恐れ入りますが、準備の都合上、ご出席いただける方は **7月13日(月)** までに、電話、ファックス等で事務局までご連絡下さい。

香川県立高松南高等学校香友会事務局

梶原 伸 治

TEL(087)885-1131 FAX(087)885-1133

----- 切り取り線 -----

FAX 送付書（高松南高等学校 FAX 番号 087-885-1133）

令和8年 月 日

香川県立高松南高等学校香友会事務局宛

送信者ご芳名

ご 住 所

T E L

令和8年度香友会総会 令和8年8月2日（日）10:00～

（ ）出席します

・その他連絡事項